

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

通いかい、通わせかいある学校、今日もおもしろかったな

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 23 令和7年10月24日 発行

校長 黒島 俊一

努力はたし算、協力はかけ算

努力はたし算、協力はかけ算という言葉があります。この言葉は、子供たちのみならず、大人も一人一人が生きていく生活を送る上で大切なことのたとえとして表現されたものです。

「努力はたし算」

自分の努力は決して裏切らず、一つ一つ着実にプラスが積み重なるもので、決して消えるものではありません。小さな努力でもそれを続けていけば、たし算の答えのように大きくなっていきます。毎日の家庭学習や運動、習い事などたとえ苦手な事でも逃げずに、避けて、向き合いながらやっていくと道が開けてきます。もちろん壁にぶつかることもあるでしょう。単純にたし算にならないこともあると思いますが、継続していくことでそれが自分の力になっていくことはまちがいありません。信じることで道は開けてくると言うことです。夢や目標をもってそれに向かって努力することが大切です。

「協力はかけ算」

他者との協力は、一人一人の個人の頑張り以上に相乗効果を生み出します。まさに学校教育の醍醐味です。一人でやるよりも多人数で力を合わせて取り組む方が、かける人数以上に早く終わってしまった経験などはまさにそのことです。一人のたし算よりもみんなでのかけ算の方が、大きい結果を期待できます。でもその一方で、一人でも協力しない人が一緒にいると、「かけるゼロ」ですべてがゼロになってしまいます。つまり、周りの人がいくらがんばっても、その努力がむだになってしまう危うさがあるということです。

学校はみんなで学習したり、遊んだり、活動したりする場所で楽しいところです。それがより素晴らしく、より素敵な、質の高いものにするためには、一人一人の意識の高まりも大切です。冷やかしかからかいなどは、かけ算によってみんなのがんばりをゼロにしてしまうことなのかもしれません。

学習発表会の取組が少しずつ始まっています。朝や放課後など、個人練習に取り組む子供たちの様子や楽器の音色が聞こえてきます。日頃から、「チーム」として協力することはたくさんありますが、学習発表会はもちろん、これからもみんなで協力しながら、時に失敗したり、間違ったりすることはあっても、「だいじょうぶ」「がんばろう」「ドンマイ、ドンマイ」など、互いに自然に仲間を励ましてあげられる、そんな心根のやさしい、帯広小学校の子供であってほしいと思うのです。



クリーン大作戦 ～ 落ち葉集め ～

保護者、地域の方、異学年の子供たち同士が協力して、清掃活動に取り組む中で、学校のために役立つこと、働くことの大切さを学ぶ恒例の「落ち葉集め」が10月21、23日の両日で行われました。

少し寒い天候でしたが、互いに声を掛け合いながら、わいわいとして楽しく夢中になって落ち葉を集めました。夏の間、木を育てる栄養を作り出してきた葉っぱはその役目を終え、みんなの力で集められた落ち葉から、今度は畑の「たい肥」に生まれ変わって、作物を育ててくれます。ただ学校環境をきれいにするだけの「ゴミ集め」とは違う、不要なものを生まれ変わらせる、大事にしたい「落ち葉集め」の取組です。2日間でボランティアの保護者の皆さんのほか、CS 委員長の松本さんなど地域の皆さん総勢のべ27名のみなさんにご協力いただきました。ありがとうございます。



今年の2日間、正味1時間程度で集めた落ち葉は、全部で大型ごみ袋102袋！この仕事量とエネルギーはすごいです。

広瀬教育長さんへのおてがみ

帯広市教育委員会教育長の広瀬容孝（ひろせよしたか）さんが、明日10月25日をもってご退任されるにあたり、毎月カレンダーを届けているのぞみ学級の子供たちが、過日、いつものカレンダーとお別れのお手紙をもって教育委員会に届けてくれました。

広瀬教育長には、いつも子供たちに心温まる声掛けをいただきありがとうございました。お言葉を励みに、のぞみ学級の子供たちは、これからもきっと頑張ってくれることでしょう。どうぞお元気で。



わくわく茶道教室から

帯広市民劇場の出前講座「茶道教室」で、茶道のお師匠さんが6名お見えになり5年生に指導いただきました。師匠のみなさんが、目の前でお湯を沸かしてくださり、直接手ほどきを受け、子供たちが一人一人お茶をたてます。よくかき混ぜるとキメが細やかになり美味しくなると、うまく立てている様子も見られました。

お菓子と共にお茶の苦みとお菓子の甘さのマッチング。静かな雰囲気の中、心が落ち着き、とてもいい空気が流れていました。

最後に、代表のお師匠さんから、「帯広のこの土地は、おいしい水があり、幸せなことであること」、「『道』がつくもの（茶道、華道、書道 ほか）は、精神を落ち着かせるものであること」、「こうした『道』にかかわっていくことが、人生を豊かにする上で大切であること」など、お話しいただきました。しっとりとした時間で

「お点前（おてまえ）頂戴致します。美味しく頂戴いたしました。」

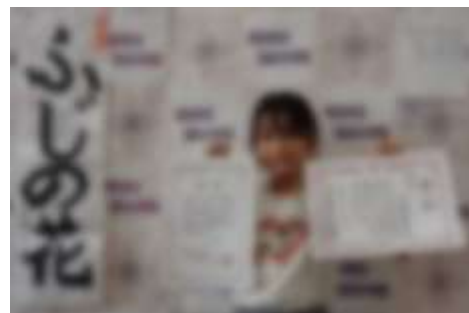
「ありがとうございました。」



帯広小の
今日のきらきらさん

日本教育書道会
第41回学生硬筆書写コンクール 準特選
日本教育書道会競書大会 銅賞
3年 高橋 葉澄 さん（写真右）

第41回学生硬筆書写コンクール 準特選
日本教育書道会競書大会 銀賞
3年 高橋 澄真 さん（写真左）



※ 今年度のスケートリンク造成（スケート学習）について。昨年度は気候変動の影響で市街地小学校ではスケートリンク造成を断念し、保護者のみなさまにご迷惑をおかけした経緯があることから、今年度の対応については、早い段階から市教委、市校長会とも連携する中で、スケート靴の準備（購入 or 賃借等）はもうしばらくお待ち願うものです。詳しくは本日配付の別文書で確認を。